

実 務 経 歴 書

私は、二級建築士又は木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を次のとおり記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
 私は、下記事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。

令和〇〇 年 〇〇月 〇〇日

氏 名 博多 太郎

福岡県指定登録機関
 公益社団法人 福岡県建築士会 会長 殿

勤務先等

勤務先（部課名まで）	所在地（番地まで）	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
株式会社〇〇〇 〇〇部〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町 〇丁目〇番地	〇年 〇月～ 〇年 〇月	〇年〇月
在職期間		地位・職名	建築実務の内容（建築士法施行規則第1条の2）
年月～年月	年月数		
〇年〇月～〇年〇月	〇年〇月	△△	①建築物の設計に関する実務
年 月～ 年 月	年 月		

←「建築資格に係る実務経験の対象実務の例示コード表」内における対象実務の例示を選択、ご記入ください。

建築実務の詳細

建築実務経験期間の合計

〇年 〇月

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇〇	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地	〇年〇月～〇年〇月	〇〇%	〇年〇月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
	〔 1C-01 〕 事務所ビル（鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積2,000㎡）の新築工事の設計業務のうち、基本設計補助（平面、立面、断面計画等）等を担当した。				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				

※会社が倒産している場合でも、実務経歴書・証明書の提出は必要です。余白部分に倒産した旨をご記入下さい。※倒産した日付が不明の場合は、日付記入は不要です。

※審査

〔記入例〕 上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。

〔記入上の注意〕 この実務経歴書は、勤務先（自営業を含む。）ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

この実務経歴証明書は「実務経歴書」ごとに作成してください。（証明者ごとの記入例が建築士会 HP より確認できます。）
※倒産した場合の証明書の書き方は、HP から「実務経歴証明書」記入例よりご参照ください。

実務経歴証明書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

福岡県指定登録機関

公益社団法人 福岡県建築士会 会長 殿

証明者 株式会社〇〇建築設計事務所
代表取締役 〇〇 〇〇

〇〇県知事登録 第〇〇号
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 申請者が所属する建築士事務所の開設者

下記の者が申請した二級建築士又は木造建築士の免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

記

1 免許申請者氏名 博多 太郎

2 建築実務経験

建築実務経験期間の合計 〇〇年 〇〇月

建築実務の内容

・事務所ビル（鉄筋コンクリート造 5 階建て、延べ面積 2,000 m²）の新築工事の設計業務のうち、
基本設計補助（平面、立面、断面計画等）等を担当。

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ること。